

2025年度（令和7年度）
第3回福山市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 議事概要

1. 日時等

日時：2026年（令和8年）2月4日（水）18：30～20：05

場所：福山市役所本庁舎3階 大会議室（Zoomとの併用）

2. 出席者

委員：野口啓示分科会長、池上文夫委員、岡田昭彦副分科会長、齋藤洋委員、佐藤裕幸委員、
関知恵子委員、田丸誠委員、中居寛美委員、藤井睦弘委員、前原一教委員、三木智恵委員、
柳澤尚志委員、吉田耕平委員

（Zoom）谷口裕子委員、長谷川貴一委員

事務局：保健福祉局長、ネウボラ推進部長、ネウボラ推進部保育施設担当部長、
こども企画課長（兼）ネウボラセンター設置準備担当課長、ネウボラ推進課長、
ネウボラ推進課こども家庭担当課長、保育施設課長、
保育施設課施設管理・児童クラブ担当課長、保育指導課長

3. 欠席者

委員：小林 貞子委員、橋本 敬治委員、山川直人委員

事務局：なし

4. 報告について

委員18人中15人の出席により定足数を満たしていることから、本専門分科会が成立していることを報告した。

5. 議事

福山市情報公開条例第6条第1項第3号に該当する法人の競争上の利益等に関する情報を含む資料を基に審議を行うため、一部非公開とした。

(1) 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業に係る利用定員について

市長からの諮問書を福山市社会福祉審議会児童福祉専門分科会長へ手交し、当該諮問に基づき、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業に係る利用定員について意見聴取を行い、審議をした。

質疑（委員）	応答（事務局）
今年度策定された福山市こども計画における見込み数と比較すると定員は確保されているのか。	市全体では利用定員は充足しているが、教育・保育提供区域の6つの区域で見ると、中部と神辺の3号認定で利用定員が見込み数を下回っている状況がある。今後の推移を見る中で、利用定員の確保を検討していく。
現時点での入所希望者数の状況が見込み数及び昨年度と比較してどうなのか。	入所希望者数は、1月15日時点で12,029人、利用見込み数は15,026人、昨年同時期の入所希望者数は12,137人である。今後も第2次、第3次の入所の受付を行うので、この数字は変動するため、速報値である。

(2) 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の認可及び確認について（非公開）

市長から福山市社会福祉審議会に対し行った諮問に基づき、乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の認可及び利用定員について意見聴取を行い、審議をした。

(3) 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）に係る市町村子ども・子育て支援事業計画代用計画の策定について

市長からの諮問書を福山市社会福祉審議会児童福祉専門分科会長へ手交し、当該諮問に基づき、市町村子ども・子育て支援事業計画代用計画の策定について、意見聴取を行い、審議をした。

（質疑・提案なし）

6. 報告事項

福山市情報公開条例第6条第1項第2号に該当する個人情報に基づき報告を行うため、非公開とした。

(1) 保育施設における虐待について（非公開）

児童福祉法33条の15に基づき、福山市社会福祉審議会児童福祉専門分科会へ報告をした。